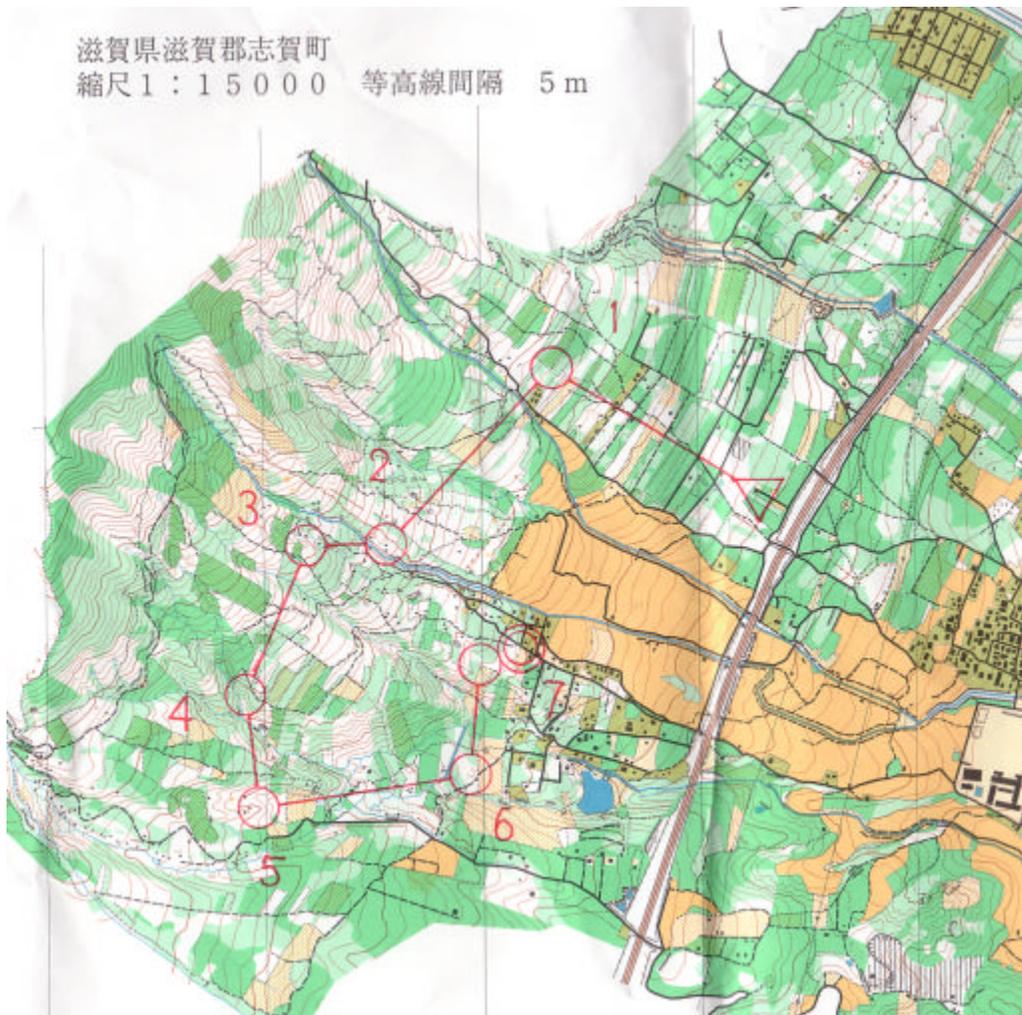


岸和田オリエンテーリング協会
[事務局] 〒596-0044
岸和田市西之内町46-12
寺田 強 (0724-43-4904)
第213号2001年7月6日発行

蓬菜玉枝

(ほうらいのたまのえ)



自治会役員奮闘？記その壱

永瀬

6月は、オリエンテーリングやっていないので、こういうネタでも。

2001/1/14(日)AM

次年度自治会役員の選考委員を決めるくじ引きがある。くじ引きの対象者は、役員未経験者。選考委員が、役員を選出できなかった場合は、選考委員から役員を選ぶことになっているうえ、選考委員数＝役員数なので、実質的に、役員を決めるくじ引きである。くじ引きの結果、選考委員を引き当ててしまう。

同日夜

自治会館に、選考委員が集まる。自己紹介をし、2000年度の会長さん、副会長さんから各役職の仕事を大まかに説明を受ける。この日は、みんな、けん制しあったまま終了。

2001/1/20(日)夜

2001/1/28(日)夜

さらに2回、集まり、ようやく、各自の役職が内定する。
(自治会理事、少年指導担当)

2001/4/1(日)AM 自治会総会

総会を経て、正式に自治会役員となる。(総会の進行の手際がよくなり、イライラする。) 総会后、前年度の少年指導担当の方より、引継を受ける。

2001/4/28(土)夜 理事会&班長会

当日は、休日出勤だったので、少ししんどい。

班長さんとは、初顔合わせなので、各自自己紹介。主な議題は、翌月の大掃除について。

2001/5/12(土)AM 大掃除準備

大掃除の理事による、事前準備。道具の準備の他に、当日は手が回らない、自治会会館の周囲の生け垣(用水路沿い)の刈り込み作業。この作業も終わりがみえたころ、アクシデントが発生する。柵にたてかけられた、熊手を踏んでしまい、その反動で、熊手の持ち手の部分が、私の鼻にヒット。出血(鼻血)で、作業からリタイヤしてしまいました。(本当に痛かった。)

さらに後日談があり、首まわりが、発疹し、猛烈にかゆくなり、皮膚科に行くと、毛虫にさされたとのこと。高所の生け垣(私の背より高い)を刈り込んでいたとき、樹粉なんかが盛大に降りかかり、気にはしていましたが、毛虫も降ってきていたとは。。。。。

その式に続く(かもしれない)

大会参加報告（6月）

前田

6 / 3 全国一斉OL大会大阪南会場 岸和田中央公園

大阪一斉の3会場の岸和田会場の運営応援

先月号で詳細有り、私はコントロールを一回りさせて頂きました11分弱で廻れた、スターOLでがんばられた小林さんお疲れでした。

6 / 10 全国一斉京都大会 双ヶ岡

フリーポイント12個

最近成績が悪いとタイムを記録しない性格になったみたいで

探したが無い！ やはり悪かったのでしょうか。

6 / 17 関西学連定例戦 天王山 MAS 4600m

久し振りの本格大会、混雑した受付が大変だった

このクラスはコンパス無しで走った武藤氏優勝、62 : 00

前田 78 : 34

6 / 23 JWOC走行会 華頂山將軍塚 2750m

小雨の中、3人JWOC代表さんと遊ばせていただきました。

午後はJWOC選手を探せ！で頑張りましたが、景品に有りつけず。

6 / 24 ショートセレ対策練習会 蓬萊玉枝 3000m

午前中は曇り、午後は猛暑

ラストコントロールで大失敗、

個人練習もやめて帰りました。

7 / 1 後日談OLが無く家でごろごろしていたら

ぎっくり腰！

この原稿を書くのも大変だった。

以上

全国一斉0大会[愛媛県会場]の状況報告と普及に向けての提言

愛媛県オリエンテーリング協会

理事長 宮内祐

現在あるPCの活用を通じて整備・宣伝を行うとともにオリエンテーリングの普及に努めるという主旨から始めた全国一斉0大会(主催JOA)は、今年で3年目を迎えた。第3回全国一斉0大会を愛媛県では6月10日(日)に北宇和郡三間町で開催した。これまでの実施状況を記すこととする。

そもそも全国一斉0大会は、「父の日にPCを使つての大会を」とのJOAからの提案から始まった。愛媛県ではPCが8コースあるが、使える地図の残枚数と山道を利用するコースから判断して、ほとんど使えない状況にあった。しかも蝮が出るかも知れない梅雨の時期である。現に四国の他県は、野外活動は不可能であると第2回0大会を実施していない。そこで、新しく0-マップを作成すること(0-CAD未習得、乏しい県協会予算の中であるが)、仮設コントロールを置きコースを短縮変更し舗装道路を主に歩くようにすること、この二つを基本に大会を開催し普及を行うこととした。

第一回(開催地:今治市使用地図:桜井)については、県のしまなみ海道開通イベントの補助事業(自主協賛)として申請し(時期が偶然一致した。)認められたため若干の補助金を頂くことができた。それを元手にコース入り0-マップを作成した。暑い中、126名が参加し心地良い汗を流した。

第二回(開催地:上浮穴郡久万町使用地図:久万ふるさと村)の地図は以前からあった分を使用。山越えを止めてコースを短縮、黒ボールペンで地図を修正、コースも手書きして大会に備えた。朝からの大雨も10時前にはあがり、参加者は半減したものの33名の参加者があった。遠来の京都府在住の奥村理也氏には、短縮コースと普通のPCの二つを走っていただいた。

第三回の今年(開催地:北宇和郡三間町使用地図:中山池)は、かねてから開催依頼していた三間町が快く引き受けてくれたため(地図代の一部補助あり)、町や町体育指導員の方たちと一体となり運営を行うことができた。地図は以前地図調査、作図をし終えていたため数日の調査で修正後作成した。

桜井、中山池とも長距離自然歩道(四国のみち)を地図に記載し多方面に使用できるよう工夫をこらした。町広報誌や愛媛新聞にも参加者募集の記事を掲載してもらい、事前申込者76名の参加者を得た。あとは天候のみが問題であった。当日は降りもせず、カンカン照りでもなく絶好の曇天に恵まれ70名の参加者があった。途中で昼食をとるグループもあり、また距離が9~11.5キロと長かったこともありで最終グループが15時過ぎに無事ゴールした。笑顔のうちに第三回は終了した。

第三回の大会を開催して思うことを書き述べ提言をしたい。

まず、開催時期であるが6月はなにせ雨が炎天下のどちらかである。雨の心配のない4,5月を考えてみると4月はベストだが、年度初めで忙しいのでこれはずし、5月(サイクリング月間も5月)を次善の月と考え、『5月を全国一斉大会月間』と変更することを提案する。6月に実施しても差し支えない。

ところで今年は、全国のどこでいつ行われたのか何も判らなかった。第三回からは、各関係省庁・全国レベルの団体の後援依頼はしないこととなった。キャンペーンは賛同しなくていいと思うが、省庁・全国団体については、JOAが手続きを取るべきだと思う。助成金なしの後援依頼なら予算書までは不要と思われるが如何か。3月までに会員から実施要項の提出を求め、まとめて処理をすればよい。全国の何処で何時開催されるのかがわかり、後援結果を会員に通知するだけで今回の情報の無さは今後カバーできると思う。(費用もさほどかからない。)全部が無理でも実施計画書だけの書類で後援がもらえる所だけでもよい。関係省庁、全国レベルの団体が後援に並んでいる方が全国一斉大会らしくよいと思うが...

最初の企画段階で以前から疑問に思うことがある。報道機関への協力依頼を十分に実施したのかということである。全国一斉WR大会の朝日新聞社のように、新聞社を特定して一面記事を組むとか、各都道府県の支局の記者に取材に行かすようにできなかったのか。今から言っても詮ないことだが、新聞に頼るべきである。今後の普及のために考えていただきたいと思う。現場の意見を取り入れることこそ意義があると思う。皆さんのご意見を伺いたい。

ともかく、全国一斉大会(普及事業)を始めたことは意義ある事と思う。PC設置市町村への働きかけが容易になった、PCの新地図作成や管理・状況把握ができる等々の理由からである。

来年(第4回)は、えひめこどもの城の地図でレク0を考えている。現在、手持ちのレク0は新潟県の全国レク大会で紹介のあった「ピンゴ0」「言葉集め0」と、愛媛県レク大会で私が考えた「組集め0」があるのだが、他のものの紹介を皆さんにお願いしたい。つまり0-マガジンに『レク0の紹介』の連載を考えていただきたいのです。競技0も重要であるが、レク0も普及には必要と考え'る。レク0が全国一斉大会の一つの形として発展するものと信じる。以上長々と書きましたが、どういう形にしる全国一斉大会を今後も継続するよう努力していきましょう。

.....
愛媛県オリエンテーリング協会理事長の宮内様より、「レク0の情報を流して欲しい」という依頼がありました。KOLAでは、新春大会を中心に、競技-Oとは違う形のオリエンテーリングを度々しています。この依頼を受け、良い機会としてこれらの実施したことをまとめていこうと思います。みなさん、どんなことをやったか、しっかり思い出してくださいね。

(よこたみのる)

第15回 KOLAナイトオリエンテーリング大会

- 【日 時】2001年8月4日(土)のナイト
【集合場所】大泉緑地 西側児童公園前(地下鉄 新金岡駅下車15分)
【受付時間】午後6時30分~7時 7時30分スタート
【競技形式】スコア0L+
【使用地図】KOLA特製ナイト用大泉公園O-マップ
【クラス】M&W とともに年齢無制限です
ハンディによるKOLA杯授与もあります。
【参加費】500円(事前) 当日は700円
【申込方法】参加費は、郵便振替にてお支払い下さい。
払込手数料は払込者の負担とします。

口座番号: 00970 - 7 - 14158

加入者名: 岸和田オリエンテーリング協会

他記人欄: 払込の住所・氏名・送金額

通信欄: 参加者の氏名・電話番号・参加クラス・生年月日・E-mail

- 【問合せ先】寺田 保 電話 0724 - 38 - 0260
E-mail mail@kola.club.ne.jp

【申込締切】7月20日(金)

- 【注 意】コンパス&ナイト0L用品の貸し出しはありません。
懐中電灯などを忘れないようにしてください。

翌日8月5日(日)は第21回コンターズ練習会です。ばっちり2日間楽しみましょう。

[場 所] 服部緑地公園

[問合せ先] 辻村 修 電話06 - 6836 - 5532

寺田強

参加者 ふるはうす(前田)
K O L A (寺田強)
大阪市大(林)

1. 広報誌発行月6月9月12月3月の4回とする。
2. 次回は原稿締切9月10日とし9月20日発行する。
3. 近畿OL連絡会の議事録 K O L A が収集。
4. 全日本リレーの選手に大会参加の抱負をインタビューする。 大阪市大担当
5. B5半ページ分を大会予告として大会主催者に使ってもらおう。 近畿OL連絡会でもPRし府以外のクラブからも受け付ける。
6. 全国一斉OL大会の南部(KOLA主催)大会分の記事を9月号に掲載する。

岸和田OLA

7. 各クラブのホームページを紙面で紹介する。 近畿OL連絡会でもPRし府以外のクラブからも受け付ける。

以上

和泉市子ども会育成連絡協議会

校区子ども会と連絡協調をはかり、子ども会運営の育成・発展に関する調査研究と子ども会活動を促進し、現在104単位約7000人が加入しています。年間を通じ、様々な活動を企画・支援しています。

主な事業

5月...オリエンテーリング大会

最近のトピックス

5月13日(日)に光明池周辺で子ども会オリエンテーリング大会が行われました。快晴のなか、参加者56組224人が3グループに別れ各ポイントをめざしていました。結果は次のとおりです。

順位・子ども会名・総合得点()内は校区と参加人数 [以下略]

先日、和泉市のホームページ(<http://www.city.izumi.osaka.jp/>)を覗いていると、上記のような文章が目につきました。「どんなオリエンテーリング大会をやっているのかな?。誰が企画しているのかな?」と思って、早速メールにて質問しました。そうしたら早速電話にて回答が。なんと大阪OLCの池田先生から電話がありました。ま、和泉市での大会なので、池田先生が関わっているだろうことは予想していましたが、電話で池田先生から回答が来るとは思っていませんでした。わざわざありがとうございます。きちんとメールをチェックして、回答できる人に回しているんですね。それにしても、あ~吃驚した!

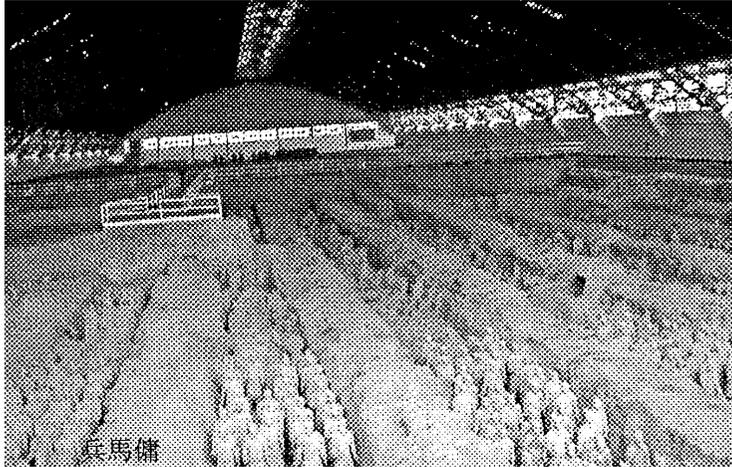
2001年ゴールデンウィーク中国へ (4月28日から5月5日)

寺田強

ここ数年パンダ会のメンバーと一緒に、この期間を使って中国への旅に出かけている。昨年は子供の結婚式等の準備に追われて(子供の結婚式が急に早まってしまったため)参加出来なかった。今回もいつものように嫁と二人で参加するようにしていたのだが、どうも女性はだれも行かないのでは?とのニュースが流れ、嫁さんも「どないしよう」と考え込んでしまった。(実は事務局の伊藤氏に何度か声をかけたのだが返事が無い)ところが、日高さんという女性が行かれるとのことで、それならばと二人での参加となった。メダタシ。実は今回の西安、敦煌、トルファン、ウルムチと全て行ったことが無いので非常に楽しみでした。特に西安は昨年の旅行で予定をしていたが行けなかった所なのでラッキーだった。行く前日までTシャツ(パンダマーク付き)を作ったり、旗(パンダ旗)の補修、シール(パンダマーク)の作成、黄さん(中国通しのガイドで毎年お願いしている)の子供や嫁さんの土産の買物など、することが仕事より多かった。

なんだかんだで出発の4月28日(土)が来た。朝から気になる現場(仕事)があるのでそれを覗いてきて、タクシーで南海岸和田駅へ。ここから急行電車で行こうとホームへ入ったが電車が出た後。次は30分後。それではと大枚一人500円も出して特急ラピート(難波~関空間を走る特急電車)に乗る。初めてラピートに乗った。10分足らずで特急料金500円は高いか。関空でみんなと待ち合わせをするが、やはり、花岡さんが居たのだが手ぶら。彼はこの数日前からパスポートが見つからないと言っていた。どうしても見つからず再発行には1ヶ月も掛かるという。それで参加出来ず見送りとなったのだが、毎回彼は会計(入国、出国手続き等)を担当してくれて貴重な存在だったのでやや先行き不安となる。それでも飛行機は定時13:40に飛ぶ。約2時間で上海空港へ。ここで小休憩をとり乗り継いで西安へと飛ぶ。上海~西安間約2時間。21:10分西安空港へ着いた。そして約1時間バスで走ると市の中心部にあるホテルへ着く。この西安は城郭都市と呼ばれ、今でも城壁がいたる所に残り、泊まったホテルも都市の中心部にある城壁に続く鐘楼といわれる外装3階建の建物のそばであった。

西安: かつて長安と呼ばれた町。紀元前1134年に初めて西周が都と定めて以来、実に11王朝の都として千年以上も栄華を極めたという古い歴史をもっている。なかでも唐(618-907年)の時代にはシルクロードの東の起点として栄え、最盛期には人口は百万人を数えた。当時は世界一の国際都市として、日本を始め各国からの商人や留学生、僧など数千人の外国人が住んでいたといわれている。城内の面積は現在の西安城(明代の構造)に比べて9倍の大きさで、今日、西安の北西26kmに位置する咸陽市と隣接していた。現代の国際都市と呼ばれる中国国内の大都市には、この街全体に漂うような文化の香り豊かな、格調高い雰囲気を感じられないのはなぜだろう。それは、この都市がもっとも本来の中国らしさを失わずに保ち続けているからではないだろうか。



兵馬傭

4月29日(日) 昨夜のホテルまでのバスの中で早速にも予定の変更が(中国の旅に日程の変更は付きもの)あったのに、またまた、変更。朝早くの飛行機で敦煌へ行くつもりで早くからホテルを出て空港に来たが、(モーニングコールAM5:45)敦煌が砂嵐のため空港が閉鎖されているとの情報で当初の予定の兵馬傭観光に変わった。

(一昨日ウルムチでは雪が降ったという。)しかし朝の8時に現地に着くが早いため土産物店も開いておらず、もちろん兵馬傭坑博物館のゲートも締まり、若い兵隊さんが立っていた。しばし現地の人々の朝の風景を眺める。オートバイに荷車を付けたものがやってきて、荷台には丸い(直径1m位)ものに煙突が付いていてそこから白い煙が出ている奇妙なものが積んであった。そこへ現地の人々は手に椀を持ってやってきて、煙突へ椀をかけてくるりとその丸いものをころがすとスープが出てきた。朝飯らしい。うまく造ってあった。スープの売り子であったのだ。やがて時間が来て開門。ここでカメラ、ビデオ等を有料で預けさせられる。西安一の観光名所とあって見に来る人も多かった。

それにもましてこの兵馬傭の実物はすごい一言につきる。現在全てが発掘のままではなく保存のため埋め戻された部分もあったがそのすごさは感動ものである。顔が服が靴が全てが一体ずつ違う。もともと当時兵士の靴や衣装(武具)などは恋人や母親が作って着せたためだそうだ。馬も今にも動き出すように生々しく迫力満点で、しかも全てが等身大である。しかも武器まで持つ者もある。

兵馬傭坑博物館:初めて中国を統一した皇帝にふさわしく、中国という国のスケールの大きさに見合った規模を持つ兵馬傭坑とそこから10kmの所にある秦始皇帝陵は、もともとはひとつの墓だったといわれている。盗掘を防ぐため、近づく者に自動的に矢を射る装置までしかけたものの、あまり役に立たず、財宝類はすべて無くなってしまったとされてきた。しかし

鳴沙山



1985年になって完全に保存された地下宮殿の存在が確認された。兵馬傭坑ひとつ見るだけでも、その強大な権力を想像するのは難しくない。兵馬傭とは殉死者のかわりに埋葬される人形のこと。1974年に発見され、1/2/3号坑が公開されているが、現在も発掘が続けられている。4号坑はあまりたいしたものがないとのことで未発掘とのこと。

再び西安空港に戻り、ガイドが空港職員に掛け合ってやっとチケットを取り敦煌へ向けて飛行機に乗り込む。60人乗り位の飛行機に我々16名(ガイド含む)とその他15-6人しか乗ってこない。しかもなかなか飛ばない。ガイドがスチュワーデスに聞くと敦煌空港からOKが出ていないとのこと。それでもその後なんの放送も無く突然エンジン音が大きくなり飛び出してしまった。プロペラ機なので2時間30分ほど掛かって敦煌へ。砂嵐と聞いていたので大丈夫かなと心配していたが、窓から見る限りは無風状態に見える。窓の下は全てが土色。川も道も畑も山も林も全て土色よくテレビで台風一過の後の景色のようであった。砂漠とは違う景色で、色がなんにも無い。ただただ土色で描いた絵のようである。ボーゼンと窓の景色に見入っていると空港着陸。砂漠の真ん中である。飛行機のタラップから見る景色は360度土色の世界であった。林(ポプラの一種もあるのだがこれらがみな土色になっていて、緑では無いのである。敦煌空港着午後5時10分。空港から市内までは20分ほどで、そこから鳴沙山まで15分ほどの近さである。この鳴沙山は「月の砂漠の……」の景色が思い出される砂漠とラクダの世界が待っていた。山麓までの10分ほどみんなでラクダで散歩する。往復30元(日本円450円程度)。地元の回族(少数民族)の皆さんのアルバイトという。ラクダ頭1000元。食用やふとんのワタの代用などに使う。サラリーマンの月給1000元。農家の年収20,000-30,000元。主産業が綿花である。分譲マンション4LDK12万円(但し中国の場合ある一定の期間の使用料{50年とかの期間だが場所により少し変動あり}また、賃貸の制度は都会以外は無いそうである)ラクダを持っている農家は裕福なほうであるとのことだった。この鳴沙山、鳥取の砂丘の比では無い。まわり全部が砂である。しかも風がきつくと目が開けられない。現地の人々はマスクをしている。もちろんまわりの売店ではマスクを売っていた。これだけ風がきついのになぜ砂山が消えないのが尋ねると地形の関係とのことであった。山頂まで登れるように梯子が砂の上に寝かせてあり(有料)戻りは板を尻にひいて滑って降りてくるという。一緒行った若い子が登ったが「しんどかった」と言っていた。とても柔らかくきれいな砂であった。観光客が多い日には山の稜線は人で埋まるそうだ。また山の麓には月牙泉という湖とそのそばにお寺があった。この湖は年中一定の水が湛えられるという。そしてわずかだがこの湖のまわりには木が茂っていた。この後市内に戻りホテルへ。

とんこう

敦煌: 暗い石窟の壁面を飛翔する天女、笑みをたたえて立ち続ける菩薩。敦煌莫高窟は数々の壁画と塑像を蔵して、仏教文化の遺産を今日に伝えている。古くは沙州(砂の都)と呼ばれた敦煌は紀元前115-111年に漢の武帝が設けた河西四都の拠点となり、東西貿易のキャラバンが行き交う宿場町として栄えた。後漢時代には仏教が中国に伝来し、やがて4世紀の東晋時代にこの地に莫高窟が開かれた。唐代の7世紀から8世紀なかばにかけては、東西の往来が盛んになり、敦煌も黄金時代を迎えるが、唐が衰退すると、一時チベットに占領され、唐帝国滅亡ののちは、西夏の支配下に入る。13世紀には西夏がチンギス・ハンに滅ぼされ、敦煌は元の領土となった。莫高窟が造られたのは元の頃までといわれている。敦煌はこの後、トルファンの支配を受け、歴史の波に変転しながら、石窟も忘れ去られていった。莫高窟が再

び目の目をみたのは今世紀の初めである。

めいさざん

鳴沙山:敦煌市街から南へ7kmのあたりにそびえる、東西40km、南北20km高最高峰で200m弱の砂山。この名は晴れた日に砂の音が管弦楽器のよう聞こえたり、数万の兵馬が打ち鳴らす太鼓や銅鑼の音のように聞こえたりすることに由来する。北麓にある月牙泉は砂の中から湧き出た三日月形の湖で底まで透き通る美しい水は神秘的である。

4月30日(月) 今朝も早くからモーニングコール(AM6:30)で起こされる。天気は快晴。湿度がほとんどなく乾燥しきっており、ガイドは水を飲むようにとしつこく言っている。今日は敦煌の最大の観光地「莫高窟」へ朝から行く。早めに出たのは現地のガイドの良いのをつかむためにと、通しのガイドの説明であった。中国はガイド二人政策を採っており、ツアー全体の通しでのガイドと現地のガイドを雇う必要がある。もちろん地域が違うと言葉が全く通じないという事情もあるが。市街から30分ほどの所にある、莫高窟は砂山に掘られた洞窟である。山肌に延々と掘られた景色は異次元の世界のようだ。ここでも高木の並木がいくらかあるがこれらも全て土色になっており、なにもかにも土色の世界である。砂山といえこれだけの窟を掘ったというのはすごい、何を考え、いや、無の境地で掘ったのか、信仰心の薄い私では耐えられない。沢山の窟のなかで、見学が許されている中から11窟を見る。中でも96番窟には高さ35.5mもの塑像が(土で造られ当時はきれいに彩色されていた)祀られていた。どの窟にも塑像や壁画があり、この乾燥した気候が幸いして残っていたが、現在も補修にとりかかっているという。まさに感動そのものである。

莫高窟:敦煌から南東へ25km、鳴沙山の東側の絶壁に南北1.8kmにわたって掘られた石窟群。千仏洞とも呼ばれ窟の数は1000以上あるが発掘されているのは492窟だけ。それでも総面積4万5000㎡に及ぶ壁画と2000体を超える塑像があり、さながら砂漠の大画廊である。これらの洞が最初に掘られたのは4世紀の東晋時代。366年僧「楽そん」が夕日を浴びて金色に輝く三危山に千仏の威厳を感じ、向かい側の鳴沙山の壁に石窟を掘り、修行の場としたのに始まる。以後14世紀の元代まで1000年にわたり掘り継がれた。

次号へ

KOLAナイト - Oの準備について

今回のナイト - Oの準備は、焼き肉パーティーも兼ねて、以下の時程で行いますので、参加者は、KOLA-MLかFAXにて、強氏までご連絡下さい。

8月4日(土) 当日

10:00 KOLAハウス(寺田強宅) 集合
買い出し、準備

12:00 昼食

14:00 大泉緑地 金岡遊戯場にて
・準備 ・焼き肉パーティー ・ナイト - O開始~終了

OLカレンダー

	大会名	主催	場所	締切	問い合わせ
7/21 ~ 22	トヨコラ复合宿	豊中OLC+KOLA	峰山		岩井06-6866-0678
7/28	ナイト オリエンテーリング	加西OLC			
8/4	KOLA ナイトO		大泉緑地		寺田 0724-38-0260
8/5	コンターズ第21回練習会	コンターズ	服部緑地		辻村06-6836-5532
9/1,2	第15回ナイト&ディ OL大会	吉備路			
8/19	ワールドゲームズ		秋田		
9/9	クラブカップリレー OL大会	ROMサービス	長野県	8/8	
9/1~2	第15回ナイト&ディ OL大会	吉備路	徳山	'8/20	吉 岡 090-8719-5623
9/2	埼玉県協会OL大会	埼玉県協会			
9/9	クラブカップリレー大会	ROMサービス	長野県	'8/8	山川047-486-5162
9/15	トレイル-O in KOBE	兵庫県OL協	神戸北区		
10/7	東北大学OLC大会				
10/14	関西学連第2回定例戦	大阪大学OLC	一体山		
10/21	第55回岡崎市OL大会	岡崎OL協	岡崎市		
10/28	全日本リレーOL大会	JOA	岐阜県		久保03-5476-5657
11/3	大阪府民大会	府OL委員会	万博公園		
11/11	OLFフェスティバル 埼玉	埼玉県OL協会	埼玉県秩父郡		
11/11	スポレク祭OL大会	三重県	三重県		
11/18	奈良県民 スポーツフェスティバル	奈良協会			
11/24	インカレショート	JOA	石川県		久保03-5476-5657
11/25	東日本OL大会	JOA	福井県		久保03-5476-5657
12/2	京都カップ第4戦		宝ヶ池		
12/9	関西学連第3回定例戦	京大	葉隠甲賀		
12/9	西日本大会	JOA	広島県		
12/23	ウエスタンカップ	兵庫県協会	三木市		
2002 3/24	全日本大会	JOA	京都府		

7月の予定

8日(日) ナイト下見(大泉緑地) 9:00
 21・22日 とよ+KOLA合宿
 26日(木) 編集&運営会議

A i m i n g

夏だ~、暑いぞ、ナイト-Oの後でビールで一杯...楽しみにしよう